

金子みすゞ詩碑「露」

露

金子みすゞ作

誰にも言わずに
おきましよう

朝のお庭のすみっこで
花がほろりと泣いたこと

もしも噂がひろがって
蜂のお耳へはいつたら

わるいことでも
したように

蜜をかえしに
ゆくでしよう

この碑は、赤崎山西面、
楽棧敷の近くにある。昭和
59年、郷土文化研究会が建
立。みすゞ第1号の詩碑で
ある。

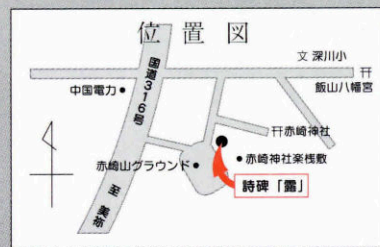
金子みすゞ（1903—

30）は仙崎の生まれ。瀬戸崎（仙崎）小学校、
大津高等女学校を卒業。大正12年、下関に移り上
山文英堂書店に勤めながら童謡詩を作るようにな
った。

大正15年（結婚の年）、『童謡』誌に特別応募し
たこの「露」の
詩が、第一席
（西条八十選）
に選ばれた。

「誰にも言
わずにおきま
しよう」と花
を自分にたと
え、蜂の行為
を自然の節理
の中で許した
みすゞの温か
い心が伝わる。

（良）



（寄稿・長門市郷土文化研究会）

秋の全国火災予防運動

11月9日（119番の日）から11月15日までの7日間、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。

この時季は、空気が乾燥し火災の起こりやすい気象状況となります。火気を使用するときは周囲に燃えやすいものはないかよく確かめ、その場を離れないようにしましょう。

【平成11年度全国統一防火標語】

「あぶないよ ひとりぼっちにした その火」

ハイ！
こちら119



火災時の問い合わせは

☎22-1414

長門地区消防本部・中央消防署

☎22-3111

今は亡き母が、息をひきとる
ちようど一週間前に、次第にう
すれゆく記憶を辿ってポツリと
もらした「仙崎」という港。母
が、女一人で幼子4人をかかえ
て夢にまでみた懐かしい祖国に
再び第一歩を記したという港で
ある。幼かった私には、何の記
憶とてない「仙崎」という地名、
私は自分自身のルーツを探る思
いで長門へと旅立った。妻と2
人で港に立ち、万感胸に迫る思
いで当時に想いをはせ、青く輝
く海をみつめていた。そして、
美しい自然に魅せられるままに
青海島へと渡った。たまたま立
ち寄った「通くじら資料館」で
は館長さんに親切にして頂き本
当にありがとうございます。
再びゆつくりと青海島を訪れる
事の出来る日を楽しみにしてい
ます。



京都市右京区

細田茂樹さん

ルーツを探る旅

応援団